

# 通年観光よりも市民の生活守ることが先だ

## 日本共産党議員団は10議案に反対



3月議会は3月25日が最終日でした。常任委員長報告の後、議案についての討論が行われ、平良木、石田、宮越、熊倉の4議員が登壇しました。

このうち日本共産党議員団の平良木議員は、新年度一般会計予算、新年度病院事業会計予算など10議案について反対討論をおこないました。

新年度一般会計予算について平良木議員は、①子どもたちの健やかな成長と安全を保つべき保育現場を支えている職員の多くを何年も継続して非正規の職員に頼っている点は重大な問題であること、②引き続き学校給食の民間委託が推進されていること、学校栄養職員の配置が不十分であることも重大、③春日山・直江津・高田の3つの地域での通年観光を推し進めるための様々な個別の予算が計上されていることにも大いに疑念がある、などと反対理由を述べました。

注目の病院事業会計予算では、「病院関係者、患者をはじめとする多くの市民すべてのみなさんの願いが早急な改築だ。来年度の改築着手のための予算を計上すべき」と訴え、反対しました。いずれも議案も賛成多数で可決されました。

「年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求めめる請願」と「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願」についても討論の後、採決が行われました。

日本共産党議員団の上野議員と宮越議員が賛成の立場で登壇しましたが、反対討論は今回も無し。いくら委員会審査で意見を述べたとはいっ

ても、討論はきちんに行うべきです。反対するなら議場でその理由を述べるのが当然ではないでしょうか。

日本共産党議員団の上野議員は、討論の中で、「いずれも市民生活

にとって重要な問題。年金の引き上げは高齢者にとって緊急に必要な課題であり、年金積立金が290兆円もあることを考えると、すぐに引上げを実施することが重要。核兵器禁止条約に日本が参加することは、唯一の被爆国としての最大の責務だ」と述べ、賛成しました。採決の結果は2つの請願とも不採択となりました。



【オクチョウジザクラ】(再掲)バラ科の落葉低木。漢字で、「奥丁字桜」と書きます。ヤマザクラの中では一番早く花を咲かせます。今年は議会中に咲いたこともあって気づきませんでした。花期は3月から4月。花言葉は、「純潔」「高尚」「心の美」など。3月27日、吉川区下町にて撮影しました。



卵を温めるメスと巣の手直しをするオス。この便りが届く頃にはヒナが誕生しているかも知れません。2日、吉川区にて撮影。

## 県民投票を考えるシンポ



「原発再稼働の是非を県民に問う」県民投票の意義を県議と共に考えるシンポジウムがこのほど市民プラザで開かれ、90人ほどの市民が参加しました。

基調報告は新潟県の決める会世話人で弁護士の水内基成弁護士。県民投票の意義や県民投票条例案の解説、今後の取り組みについて報告しました。水内さんは、この条例が県議会で可決成立すれば、「柏崎刈羽原発の再稼働について、県民が賛否を表明する県民投票を実施する仕組みが初めてできる。全国的にも注目される」「条例案では、投票結果を知事は「尊重」、国・関係機関と「真摯に協議」「努めなければならない」となっていて、諮問型であり、拘束型ではない」などのべました。

県議からは、「この問題は熟議が必要だ。私個人としては党議拘束を外せばいいと思っている」(斎京県議)「県民投票は間接民主主義と矛盾するものではない」(馬場県議)などの意見が表明されました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2198 2025.4.6

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第八四五回

## 若葉の頃

懐かしい名前を久しぶりに目にしうれしくなりました。その人の名前は小野輝子さん、私と同郷の人です。先日、ある商業新聞が「春のお出かけスポット」というテーマで原稿を募集したところ、輝子さんが応募し、その文章が載ったのです。

文章のタイトルは、「若葉の緑と名水」、「私のお気に入りのスポットは上越市吉川区の尾神岳だ」で始まる文章に私はくぎ付けとなりました。

「春のお出かけスポット」というなら、たがいは桜の名所を思い浮かべるのではないのでしょうか。でも、輝子さんは若葉に注目しました。それも子どもの頃からずっと見てきた尾神岳の若葉です。よくぞ書いてくれました。

輝子さんの文章を読んで、輝子さんの視線がどう動いたかを想像しながら、尾神岳を中心とした思い出の風景を追ってみることにしました。

四月、一番先に私の目に入り、美しいと思うのは、村屋の裏山と言ったらいいか、それとも高沢入の山と言ったらいいのでしょうか、そのブナ林の緑です。次に坪野のドングリ村のブナ林が緑色となり、さらに尾神岳に上っていくのです。その様子は川袋から見るとよくわかります。

輝子さんは若葉が尾神岳を上ってやさしい緑色になることに注目して文章を書いていきます。たぶん、私が好きなブナだけではなく、カエデやケヤキなどの若葉にも目を向け、山全体のやさしい緑色が気に入っているのでしょうか。

若葉が美しくなるころ、田んぼの仕事をはじまります。いまはすでに荒れてしまいました。尾神岳のパラグライダーの練習場を過ぎて二百メートルくらい進んだところから、蛭場の山の方を見ると素敵な棚田が見えたものでした。水が入った田んぼと蛭場の屏風のような山々が作りだす景色はまさ

に絶景中の絶景でした。

パノラマハウスまで登ると、日本海に至るまでの田んぼや里山が見えます。朝日池や坂田池、そして直江津海岸、春日山、南葉山、妙高、火打、焼の頸城三山が続きます。これらの景色を初めて見た人たちはその美しさに惹かれ、それらの景色の中へ飛び込みたくなるのではないのでしょうか。

そんな願いを実現してくれるのがパラグライダーです。輝子さんはパラグライダーがパノラマハウス脇から次々と飛び立ち、尾神岳の上空をカラフルに染める光景を覚えていくようです。「上空には色とりどりのパラグライダーが空を舞う」と書いていました。私はパラグライダー数十機が風に乗り、滑るように流れていく姿を動画に収めたことがあります。

さらにパノラマハウスから展望台へと上っていくと、また違った景色が目に入ってきます。近くにある兜巾山、柏崎の黒姫山、八石山、そして魚沼の八海山などの山々も見えてくるのです。それらの景色も見事なのですが、それよりも手前の尾神岳の裏山のブナ林にびっくりされる方が多いのではないのでしょうか。新潟県内でも屈指の規模を誇るこのブナ林は、それこそ輝子さんの言う「やさしい緑色」そのものです。そして、たっぴりと水をためこみ、吉川や大出口川などの水源となっています。

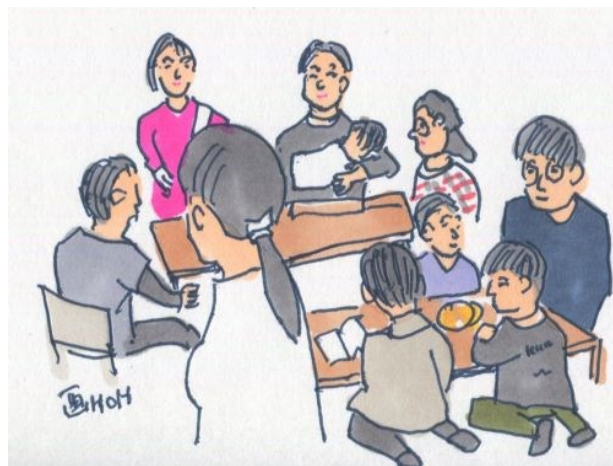
吉川区を離れ、下越方面に移り住んで十数年経った輝子さん。投稿文を読むと、毎年のように尾神岳に来ておられるようですが、私は一度もお会いできていません。会うといつも笑顔で話しかけて来る人だっただけに、とても懐かしく、会いたい気持ちがあつたります。輝子さんとは旧源中学校の同窓です。歳もそう離れてはいません。尾神岳がやさしい緑色に包まれている時期と一緒に尾神岳に登りたいものです。そして、昔話もたっぴりしてみたい。

## 頸城区西部公民館で再び子ども食堂

29日、頸城区の西部公民館に行ってきました。ここでは、私も少し関わりのあった子ども食堂が再度行われていたのです。

今回は子どもたちがけっこう参加していて、食後に、絵本を読む子どもたちの姿も見られました。

会場では、Mさんなど何人が知り合いがいて、今年のサクラのことやコウノトリの最新情報などについて情報交換しました。



## 『とちやの風』、到着

私の13冊目のエッセイ集、『とちやの風』が到着しました。

わが家のことだけでなく、グループホームでのエピソードなど身近な話題がいくつも掲載されています。

『とちやの風』1冊1590円(税込み)です。ぜひお読みください。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月26日(水)	4月2日(水)
上越消防署	0.050	0.057
上越南消防署	0.043	0.043
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.067	0.063
東頸消防署	0.037	0.050
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.053	0.057